

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2016年8月2日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ 6都市で自動運転のテスト

Tests für automatisiertes Fahren in sechs Städten

新しい自動運転システムのテストが、アウトバーン以外の道でも、ドイツの少なくとも6つの都市で始まる。連邦交通省が月曜日にベルリンで発表したところによると、ハンブルク、ミュンヘン、インゴルシュタット、ブラウンシュヴァイク、ドレスデン、デュッセルドルフが実地試験の場には選ばれる予定で、さらに何か所か追加される可能性もあるという。具体的には道路にセンサーを設置するなどの実験だという。

ドイツ 2016年8月3日 南ドイツ新聞オンライン版

■ 交通安全：アスファルトを加熱して凍結しないアウトバーンに

Verkehrssicherheit : Asphaltheizung soll Autobahnen eisfrei halten

連邦道路交通研究所 (BASt) は、2017年からアウトバーンのアスファルトを加熱する初めての試験を実施する。深部からの温水が汲み上げられて、アスファルトの下に敷設された配管の中を流れるという、床暖房に似たシステムだ。このようにして冬季には少ない消費エネルギーで路面凍結を防ぎ、また逆に暑い日にはアスファルトを冷却することができる。

ドイツ 2016年8月5日 南ドイツ新聞オンライン版

■ 自律走行：LIDAR を活用すれば自動車は正確に「見る」ようになる

Autonomes Fahren : Mit Lidar sollen Autos richtig sehen lernen

ドライバーにちょっとした休憩時間が与えられることになる。連邦交通省は高度な自動運転が可能な自動車向けの法律施行に向けて準備しているが、2017年から、このような「レベル3」に該当する車両については、ドライバーが常に運転に集中することは最早求められなくなるという。

ドイツ 2016年8月11日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ アウトバーン上の橋梁で緊急工事

Notoperation an Autobahnbrücken

緊急の改修工事のため、レーヴァークーゼン市のライン川に架かる橋が通行止めになるが、問題のある橋梁はこれだけではなく、全国に数多く存在している。エンジニアにとっての最大の心配事は、最近ケーブル固定装置付近で発見された40 cmにもわたる裂け目だ。北部のラーダー高架橋については2026年に代わりとなる新しい橋が開通し、西部のレーヴァークーゼン市のライン川架橋については2020年と2023年までに2基の最新式の橋が完成する予定だ。

ドイツ (ノルウェー) 2016年8月16日 Frankfurter Allgemeine Zeitung オンライン版

■ 環境保護のため、ノルウェーがディーゼル車とガソリン車の禁止を検討

Umweltschutz : Norwegen will Diesel und Benzinerverbannen

ノルウェー政府は気候変動対策の一環として、大胆な措置に踏み切ろうとしている。政府によると、2025年以降は新しいガソリン車およびディーゼル車の登録を許可しない意向だという。

ドイツ 2016年8月18日 南ドイツ新聞オンライン版

■ コネクテッド走行：アウディのドライバーにはいつでもグリーンウェーブを

Vernetztes Fahren : Immer grüne Welle für Audi-Fahrer

アウディは、信号と通信して、ドライバーがどのような行動を取れば、次の交差点を緑信号で速く通過できるかを予測するシステムを発表した。2016年秋から米国7都市で導入される。

フランス 2016年8月19日 Gooplanet

■ パリ市、イル＝ド＝フランス地方の住民に「車なしの1週間」を課す

7 jours sans voiture : Paris lance le défi aux Franciliens

パリ市はイル＝ド＝フランス地方の住民に、あるチャレンジを課そうとしている。それは9月19日～25日までの7日間、車を使わないというもの。その代わりに、レンタル自転車、公共交通機関、セルフサービス式レンタル電気自動車の利用が無料になる。

フランス (オランダ) 2016年8月22日 Gooplanet

■ オランダでガソリン車とディーゼル車を禁止する法案について議論

Débat aux Pays-Bas sur l'interdiction des voitures à essence et au diesel

オランダ政府は国会において10月13日、2025年以降ガソリン車とディーゼル車の販売を禁止するか否かを話し合う円卓会議を開催する予定だ。『インデペンデント』紙はこの会議の開催を、労働党提出の法案に従うものと報じている。法律の条項は今後規定されるが、ガソリン車またはディーゼル車の販売を禁止するものとされ、それが実現すればこの種の車を10年の間に路上から排除することも可能となる。その結果、オランダでは温室効果ガス排出量の削減目標である、1990年の排出レベルの80%という数値目標が達成されることにもなるかもしれない。オランダは国土が極めて低地にあることから、海面上昇と、地球温暖化による自然災害の影響を受けやすい国である。

ドイツ 2016年8月24日 Welt オンライン版

■ 自動走行：(ほぼ) 自動でしゃべり、走行する未来のバス

Autonomes Fahren : Der Bus der Zukunft spricht und fährt (fast) alleine

自動運転のバスは、近距離公共交通の効率性、安全性、柔軟性を高めると言われている。現在試作段階にあり、3Dプリンターで造られたサンプル車が近々ベルリンの街を走行する。

ドイツ 2016年8月25日 Spiegel オンライン版

■ 暑熱の影響でアウトバーンにブローアップ発生のおそれ、警察が速度制限を敷く

Mögliche Blow-ups : Polizei verhängt Tempolimits wegen Hitzegefahr auf Autobahnen

気温が摂氏30度を超えるとドイツの一部のアウトバーンに、いわゆるブローアップのおそれが発生する。そのため現在、アウトバーン5号線と6号線の区間で時速80kmまでの速度制限が敷かれている。この制限は10時～20時まで適用される。バイエルン州では、2013年に発生した死亡事故の後に、いくつかの区間に改良工事を施した。バイエルン南部アウトバーン管理局舗装専門主任のルーベルト・シュメルベック氏によると、コンクリートの層の間に幅1mのアスファルトの層を挟み、コンクリートがより軟らかいアスファルトに向かって膨張する余地ができるようにした。「改良した区間では、その後ブローアップは発生していません」とのことである。